

施 政 概 要

(案)

令和3年第4回（12月）市議会定例会

四 街 道 市

予定事項等が含まれていることや、11月17日時点の内容であることから、今後の状況により、内容が変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、令和3年第4回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況につきましては、11月11日現在、国のワクチン接種記録システム（VRS）に登録されている1回目の接種を行った方は、65歳以上が2万5,679人、接種率94.26%、全体では7万4,670人、接種率78.29%となっています。また、2回目の接種を行った方は、65歳以上が2万5,532人、接種率93.72%、全体では7万1,030人、接種率74.48%となっています。なお、3回目の接種につきましては、医療従事者等を対象に12月から開始し、一般市民を対象とした接種は、2回目の接種を受けてから8か月を経過する市民へ順次通知し、2月から開始する予定で準備を進めています。

今後も、国のワクチン供給状況を注視し、接種を希望する全ての市民への接種が円滑に実施できるよう、医療機関等の関係機関と連携して進めてまいります。

続きまして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、市独自の取組について申し上げます。

「個人・世帯向けの支援」の取組でございますが、生活困窮者への支援として、住居の喪失、又は喪失の恐れがある方に対して支給する住居確保給付金の受給者、及び一時的な生計維持を目的として貸付される緊急小口資金の受給者に対する支援金につきましては、10月末現在、住居確保給付金の受給者へは3件、15万円、緊急小口資金の受給者へは27件、135万円の給付を決定し、順次支払いを進めています。

高齢者への支援として、ワクチン接種会場までの移動が困難な方に対し、タクシー利用経費として、2千円を助成する高齢者ワクチン接種タクシー利用助

成事業につきましては、１０月末に申請を締切り、申請のあった１２２人に支給を行いました。

子育て支援として、コロナ禍における経済的な負担軽減を図るため、本年中に出生した乳児１人当たり５万円を給付する乳児感染対策支援事業につきましては、１０月末現在、申請のあった４４９人に対して順次支払いを進めています。

次に、「事業者向け支援」の取組でございますが、売上高が２０％以上減少している事業者に対する応援金の支給、及び店舗や事務所において感染拡大防止用の備品を購入した事業者に対する補助金の給付につきましては、申請期限を、それぞれ１０月３１日、１１月３０日まで延長し、１０月末現在、減収事業者への応援金は、５７１件、５，７１０万円、備品購入に関する補助金は、１２３件、１，０５７万３，０００円の支給を決定し、順次支払いを進めています。

次に、「新しい生活への支援等」の取組でございますが、地球温暖化対策の推進を目的としたゼロカーボン都市推進事業として、一般住宅用充電設備（Ｖ２Ｈ）の設置、ＥＶ等の次世代自動車購入に係る費用を補助する住宅用充電設備導入事業補助金につきましては、１０月末現在、１件、２０万円、宅配ボックス購入支援事業補助金につきましては、６２件、４９万５，０００円の支給を決定し、順次支払いを進めています。

オンライン授業の増加に伴い、必要となるパソコンやタブレット端末を購入した学生に対し、購入費用の一部を補助するオンライン学習ＰＣ購入支援事業につきましては、１０月末現在、１６２件、１６１万４，１００円の支給を決定し、順次支払いを進めています。

高齢者のデジタル・デバイド解消を図ることを目的とした、スマートフォンの基本的な使い方を学べる講習会につきましては、１０月に計１５回開催し、延べ６２人の方が受講をされました。

「ふるさと四街道」を再認識し、記憶を受けつないでいく機会とするため、１１月１６日から２１日まで市民等から応募があった約１５０点の写真による「ふるさとの記憶展」を四街道市民ギャラリーにて開催しました。また、市のＹｏｕＴｕｂｅチャンネルにおいても、応募のあった写真を“前篇”、“後篇”として動画による配信を行っています。

続きまして、新型コロナウイルス感染症に係る国などの支援等について申し上げます。

国の新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金を活用した、子

育て世帯生活支援特別給付金につきましては、１０月末現在、対象となる低所得の子育て世帯、９１１世帯に対し、７，４９０万円の支給を行っています。

生活困窮者の自立支援につきましては、くらしサポートセンターみらいにおいて、緊急小口資金特例貸付、及び住居確保給付金の申請等受付や相談を引き続き行っています。

国民健康保険・後期高齢者医療につきましては、新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対し、傷病手当金の支給を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少した世帯に係る保険税及び保険料の減免に関する相談等を行っています。１０月末現在、傷病手当金については、３件、１５万９，５５１円を支給し、国保税及び後期高齢者医療保険料の減免については、それぞれ６３件、１，１６４万７，９００円、１２件、１０９万３，９００円の減免を決定しました。

続きまして、本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組について申し上げます。

６年度を開始年度とする新たな総合計画の策定については、現在、１０月に実施した市民意識調査の取りまとめ等を行っているところです。今後、調査結果等を基礎資料として、次年度以降の計画策定作業を進めてまいります。

庁舎整備については、実施設計に取り組む中で、工事発注に必要となる詳細な図面が完了したことから、現在、建設等に係る経費の積算業務を進めているところです。

ごみ処理施設については、次期ごみ処理施設等用地に関し、砕石混じり層の取扱いを含めた調査計画の再構築に向けて、現在、県の関係部署への相談を行いながら、指定調査機関とともに調査方法等の検討を進めており、併せて、再生砕石の搬入の経緯や工事の状況などについて、関係事業者への聞き取り調査を進めているところです。

また、損害賠償請求事件の裁判については、１１月４日に弁論準備手続が開かれました。なお、地元吉岡区とは、「次期ごみ処理施設建設等に関する連絡協議会」を開催するなど、引き続き施設建設事業及び地域振興事業等の協議を進めています。

新たな公共交通サービスの取組については、千代田地区でグリーンスローモビリティを活用した実証実験を１０月１９日から開始しています。１０月１６日には実証実験の開始に先立ち、地区住民の代表者、関係事業者及び企業版ふるさと納税により事業費の寄附をいただいた企業の代表者にお集まりいた

だき、千代田集会所において出発式を開催しました。出発式当日には、グリーンスローモビリティの乗車機会を設け、約60人余りの市民に乗車体験をしていただきました。

今夏の東京2020オリンピック競技大会ゴルフ女子において、本市在住の稲見萌寧さんが日本ゴルフ界初のメダルとなる銀メダルを獲得されたことは、未だ記憶に新しいところですが、この度、その栄誉をたたえて、市民栄誉賞を授与しました。

また、11月1日に開催した市表彰式において、市政の発展や福祉の増進等に尽力され、また、市民の模範となる等の功績顕著な方、6名に対し功労表彰を行いました。

続きまして、主要施策について、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

【分野別の主要施策】

基本目標1「だれもが健康でいきいき暮らせるまち」
の分野でございますが、子ども家庭支援については、保育サービスの充実として、4年度以降のこどもルーム運営事業において、新たな運営受託事業者の選考を公募型企画提案方式により行い、11月16日に決定しました。現在、来年4月からの運営開始に向け、現在の受託事業者である社会福祉法人四街道市社会福祉協議会からの円滑な業務引き継ぎが行われるよう協議を進めています。

障害者支援については、「第6期四街道市障害福祉計画」及び「第2期四街道市障害児福祉計画」に基づき、障害のある人が地域で自立した日常生活・社会生活を送れるよう、地域の相談支援の拠点として総合的・専門的な相談業務の実施に加え、地域生活を支えるための他機関との協働・連携、体制整備に係るコーディネート等を行う「障害者基幹相談支援センター」の来年4月開設に向け、準備を進めています。

基本目標2「安全・安心を実現するまち」
の分野でございますが、防災・減災については、防災行政無線のシステム更新が概ね完了し、12月からの本格運用に向け、準備を進めています。また、携帯電話・スマートフォンを使用していない高齢者や障害者等の自宅の電話やFAXに、災害時緊急情報を配信するサービスについては、来年1月から利用の申込受付を開始する予定で準備を進めています。

消防・救急については、旭分署に新型コロナウイルス感染症への対応設備を

備えた救急車の追加配備が完了し、１０月１１日から運用を開始しました。

また、市民の防火意識の高揚を図ることを目的として、「第１６回防火ポスター展」を開催しました。ポスター展には、小中学生から３２８点の応募があり、そのうち入選された９点を、市内大型商業施設においては１１月９日から１５日まで展示し、わろうべの里においては１１月１６日から２４日まで展示します。

基本目標３「豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち」
の分野でございますが、子ども教育については、「四街道市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを見逃さない学校づくり、人権意識の高揚を目的とし、１２月１０日の「世界人権デー」に合わせ、１１月１１日から１２月１０日まで、市内全小中学校において「いじめ撲滅キャンペーン」を実施しています。期間中は、学校の実情に応じて、いじめ撲滅に向けたクラス討論会などを行っています。

また、「四街道市子ども読書活動推進計画（第４次）」の本年度中の策定に向け、四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会でのご意見を踏まえ、計画案を作成し、１２月１日からパブリックコメントを実施する予定で準備を進めています。

教育施設整備では、八木原小学校校舎大規模改造工事において、昇降口棟内部の改修工事が完了し、現在、昇降口棟外部及び南棟の改修工事を進めています。また、千代田中学校及び旭中学校のトイレ洋式化・乾式化につきましては、各校６か所のトイレのうち、それぞれ３か所の工事を終えており、現在、年度内の完了に向け、残りの工事を進めています。

青少年健全育成の推進については、来年１月９日に約８６０人の新成人を対象とし、成人としてのこれからを考える機会とすることを目的とした「新成人のつどい」の開催に向け、成人式実行委員会とともに、準備を進めています。

基本目標４「みどりと都市が調和したうるおいのあるまち」
の分野でございますが、環境保全については、大日地区での環境基準を超過した地下水の汚染機構解明に向け、これまでのボーリング調査で設置した観測井戸や周辺の民間井戸での水位測定等を実施し、地下水流動方向等の確認をするとともに、汚染源の特定等に係る揚水試験等の準備を進めています。

住環境については、「四街道市公営住宅等長寿命化計画」に基づく市営住宅の適正な維持管理を行うため、市営緑ヶ丘住宅の屋上防水、外壁仕上剥落防止、落下防止柵等の改修工事を発注しました。

水道事業では、安定した水の供給を確保するため、大日地先ほか１０か所の

配水改善工事等を新たに発注し、本年度執行を予定していた全ての配水改善工事の発注を終えました。

基本目標５「にぎわいと活力にあふれるまち」
の分野でございますが、道路・交通については、安全・安心な交通環境を整備するため、千代田２９号線ほか１路線の舗装修繕工事の契約手続を進めています。また、通学路の交通安全対策として、物井５１号線ほか３路線の交通安全施設整備工事の契約手続を進めています。

市街地形成については、鹿渡南部土地区画整理組合が申し立てた、組合の再建に向けた債務の免除・放棄を求める特定調停について、裁判所の要請により利害関係人として、現在まで３回の特定調停に出席し、合意に向けた話し合いを行っています。なお、次回調停期日の予定は１１月２９日となっています。

基本目標６「ともに創る将来に向けて持続可能なまち」
の分野でございますが、みんなで地域づくりについては、「みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」の４年度事業に関する提案募集を１１月５日まで行ったところ、３件の応募がありました。今後は、公開プレゼンテーション等による審査を経て、採択する事業を決定します。

シティセールスについては、市の認知度とイメージの向上を図るため、市にゆかりのある、文化・スポーツ・芸能・芸術の分野において活躍している方々に四街道市の情報発信等をしていただく、四街道市ＰＲ大使の来年１月の任命に向け、準備を進めています。

また、四街道の魅力を市外に分かりやすく視覚的に印象付けるシティセールス用ロゴマークの制作につきましては、ロゴマーク用のキャッチコピーを１０月１６日から１１月１５日まで市民等から募集するとともに、公募型企画提案方式によりロゴマーク制作事業者の選定を進めています。

共生社会については、「第４次四街道市男女共同参画推進計画」の本年度中の策定に向け、１１月１９日に計画案について、有識者、関係団体代表者、公募市民で構成される四街道市男女共同参画審議会に諮問し、各委員からのご意見をいただいたところです。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市勢発展のため、全力を傾注し、市政の課題に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和３年１１月２２日

四街道市長 佐 渡 齊